

事業概要

- 所在地：渋川市村上
- 路線名：国道353号
- 事業内容：落石対策(道路改良) 延長 550m
- 全体事業費：約18億円
- 事業期間：平成15年度～令和4年度(20年間)
- 現在の交通量(H27)：11,157台/日(自動車)
 - ：5人/12時間(歩行者)
 - ：4台/12時間(自転車)
- 緊急輸送道路指定：1次

国道353号を、法面(崖)から離すため、道路を吾妻川側に張り出して、さらに法面側には擁壁を設置します。このため、吾妻川の右岸(対岸)の護岸を引く工事を、平成20年度から平成28年度にかけて実施しました。

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路をがけから離します



- ・何度もガケ崩れがあり大変危険な場所です。(道路利用者)
- ・渋川と吾妻を結ぶ重要な道路なので通行止めがっては困ります。(地元住民)

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
法面崩壊による国道への崩落 【大規模崩落による全面通行止め】	3件/50年間	0件
斜面の危険箇所数	4箇所	0箇所
急カーブの改善	1箇所	0箇所

実施前

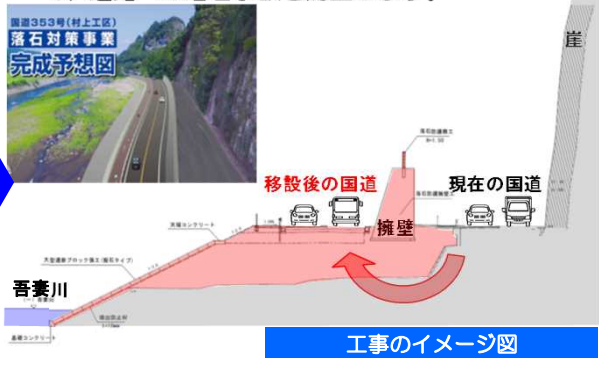
◆平成14年と平成15年にはがけ崩れが発生しており、危険な状況にあります。



これまでに発生した法面崩落状況

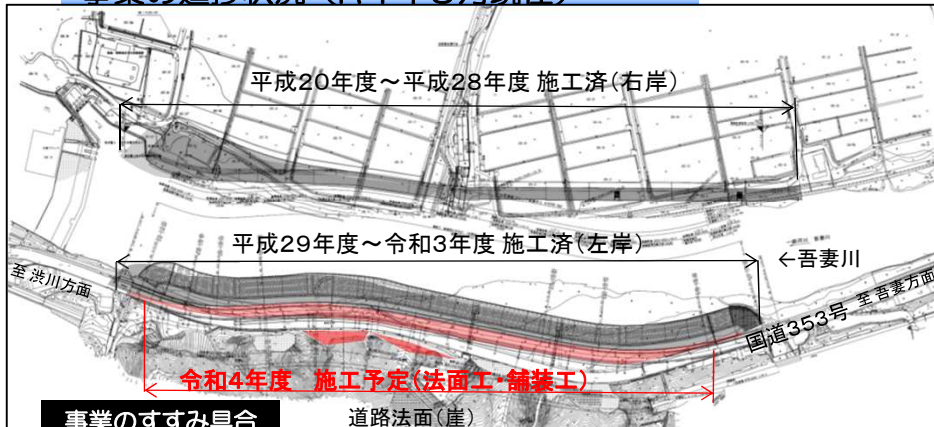
実施後

◆川側に道路を移設し、崖側には擁壁を設置して、道路への落石事故を防止します。

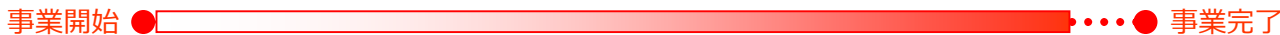


工事のイメージ図

事業の進捗状況(R4年3月現在)



事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和3年度は、道路の振り替えと擁壁工事を実施しました。令和4年度は法面工(ロックボルト工)、舗装工を実施して事業完了となります。

